

無痛分娩マニュアル（医師向け）

本マニュアルは、当院における硬膜外麻酔による無痛分娩の流れ、副作用、合併症、入院から退院までの標準的スケジュールをまとめたものです。医療従事者や他院スタッフに加え、妊婦さんご本人の理解の一助となることを目的としています。

1. 無痛分娩とは

無痛分娩とは、局所麻酔薬により分娩時の痛みを和らげる方法です。当院では希望者に対し、安全に最大限配慮した上で無痛分娩を実施しています。意識は保たれ、分娩の進行もわかる状態で出産を迎えることが可能です。当院では完全計画無痛分娩となります。

2. 適応と禁忌

【適応】

- 正常経膣分娩予定の妊婦
- 硬膜外麻酔に対する理解と同意が得られた方

【禁忌】

- 麻酔薬アレルギー
- 出血傾向（血小板減少や抗凝固療法中）
- 感染症（穿刺部位または全身）

3. 硬膜外麻酔の実施手順

1. 妊婦を側臥位または座位にして背部を消毒
2. 局所麻酔後、L3/4（場合によってはL2/3またはL4/5）間に穿刺
3. 硬膜外腔確認後、カテーテル挿入・固定
4. テストドーズ後、麻酔薬の間欠投与を開始

4. 合併症と副作用

【低血圧】：輸液負荷、昇圧薬投与で対応

【硬膜穿刺後頭痛】：安静・輸液負荷・カフェイン・血液パッチで治療

【麻酔効果不十分】：体位調整や追加投与、再挿入（硬膜外もしくは脊椎麻酔）で対応

【局所麻酔中毒】：慎重な経過観察と、循環器作動薬と脂肪乳剤を用いた全身管理及び局所麻酔中毒の治療。

【神経障害（極めて稀）】：早期発見、麻酔科および関連診療科と連携

【高位脊椎麻酔】：麻酔が過剰に作用し、呼吸抑制や意識低下をきたすことがあるため、酸素投与・気道確保など迅速に対応

5. 入院までの流れ（当院）

以下は、当院における無痛分娩の標準的な入院スケジュールの概要です。

週数	産科	麻酔科
～34週	<ul style="list-style-type: none"> ・無痛分娩同意書 回収 →予約枠確保（1週間で初産2枠、経産3枠） ・無痛動画視聴 ・無痛分娩教室受講（第2金曜日のみ） →助産師・産科・麻酔科から説明 硬膜外麻酔時の体位の指導 	
36週	<ul style="list-style-type: none"> ・誘発同意書（プロウペス同意書）取得 →入院時にサインし持参 ・通常の妊婦健診＋無痛採血（血算、凝固）実施 ・日程決定していればお伝え 	
入院日 （誘発前日）	<ul style="list-style-type: none"> ①経産（38-39週頃） →14:00入院 頸管拡張 ②初産（40週前後） →9:00入院 プロウペスor頸管拡張 	平日の場合は麻酔同意書取得に訪室 （日・祝の場合は誘発当日に取得）
無痛分娩当日	～7:00頃 NST、内診（拡張不十分ならミニメトロ挿入） アトニン開始	①経産 9:00頃 硬膜外カテーテル挿入 ②初産 適宜産科医より依頼時に挿入

産後は、産褥 1 日目及び 5 日目に診察行い、問題なければ経産婦は産褥 5 日目 14 時退院、初産婦は産褥 6 日目 10 時退院となります。